

KC小学校訪問の事例2

学習者 : 国際交流基金関西国際センター日本語学習者訪日研修(大学生)の研修生 21 名。
国籍は、タイ、フィリピン、インド、スリランカ、メキシコ、アゼルバイジャン、ロシア、トルコ、ケニアの 9 カ国。日本語レベルは、初級～JLPT2 級合格程度まで。日本には 6 週間滞在し、小学校訪問は 4 週目に実施。

小学校側 : 小学校 6 年生 2 クラス約 70 名

13:30

小学校に到着。学習者、小学校側それぞれの代表が挨拶しました。その後、学習者が 1 人ずつ簡単に自己紹介。小学校側からの要望で、それぞれの母語で「こんにちは」の言葉を紙で示しながら紹介しました。



この後、各グループに分かれて交流。班長の生徒が、各交流場所へ学習者を連れて行ってくれました。

14:00～ 学校のいろいろな場所で交流

小学生が自分の班の学習者の国について予め調べてあり、学習者はポスターを示しながら子供たちの質問に答えたり、自国から持ってきた写真を紹介したりしました。



14:40～

後半は、小学生がグループごとに企画した「日本の紹介」がありました。剣玉などの遊びをするグループあり、外で餅を焼くグループや、家庭科室でたこ焼きを作るグループありでした。



15:15～

もう一度全員で集まりました。小学生からは歌とリコーダー演奏のプレゼントをいただきました。双方が代表挨拶を行い、全員で記念写真を撮影、交流会は終了しました。



小学生たちがバスまで見送りに来てくれ、どちらも最後まで名残惜しそうな別れになりました。